別紙３

一者応札・応募等事案フォローアップ票

法人名	国立研究開発法人国立がん研究センター
案件番号	1
入札及び契約方式	一般競争（最低価格落札方式）
契約の件名及び数量	実験動物病原微生物検査業務委託　1式
契約締結日	2026年4月28日
契約の相手方の商号又は名称等	ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン株式会社
入札経緯及び結果	2026年03月02日公告 2026年03月23日入札書受領期限 2026年03月27日開札

一者応札・応募等の改善取組内容

改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	動物実験施設の運営及び検査精度の確保に必要な内容に限定した仕様としている。
②業務等準備期間の十分な確保	○	前回の68日間と同程度となる65日間の業務準備期間を確保した。
③公告期間の見直し	×	前回及び今回とも、調達等合理化計画に基づき14日間公告しており、公告期間の延長は行っていない。
④公告周知方法の改善	○	ホームページ及び掲示板への掲載に加え、履行可能性が見込まれる業者3者に入札情報を案内した。
⑤電子入札システムの導入	×	無
⑥業者等からの聴き取り	○	業者から、履行体制の構築には今回確保した65日間を超える準備期間が必要であり、当該期間では参加が難しい旨の意見があった。

法人における事後点検の結果講ずることとした措置

事後点検の結果、仕様は動物実験施設の運営及び検査精度の確保に必要な内容で構成されている一方、業者への聴き取りでは、今回確保した65日間では履行体制の構築に必要な準備期間が十分でないとの意見があった。次回調達では、手続を早期に開始し、業者への事前確認を踏まえて90日以上の業務準備期間の確保を検討する。また、ホームページ等による公告に加え、他の研究機関で同種業務の実績を有する事業者への入札情報の案内及び現場見学の機会の設定を検討し、競争参加機会の拡大に努める。　広告期間の延長、業界紙や官報への掲載を行い、幅広く周知することも検討している。

契約監視委員会のコメント

入札手続を早期に開始するとともに、十分な業務準備期間を確保した上で、適正な競争に付すること。あわせて、周知方法を工夫するとともに、同種業務の実績を有する事業者への入札情報の案内や、現場見学の機会の設定を検討し、複数業者の参加促進に努めること。

（法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置）

入札手続を早期に開始するとともに、十分な業務準備期間を確保した上で、適正な競争に付することとする。
併せて、応札可能な業者等に対する周知方法を工夫するとともに、同種業務の実績を有する事業者への入札情報を周知したうえで、現場見学の機会の設定を検討し、複数業者の参加促進に努めることとする。

本案件を審議した契約監視委員会の委員

近藤 浩明（監事）、小野 高史（監事）、加藤 一郎（外部有識者）、岡村 俊克（外部有識者）

（注）１．「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における１者応札・１者応募についての改善方策等について（依頼）」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。
（注）２．「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。
（注）３．本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

別紙３

一者応札・応募等事案フォローアップ票

法人名	国立研究開発法人国立がん研究センター
案件番号	2
入札及び契約方式	一般競争（最低価格落札方式）
契約の件名及び数量	東病院ホテル間患者送迎車運行管理業務委託　1式
契約締結日	2026年5月21日
契約の相手方の商号又は名称等	クルーサポート株式会社
入札経緯及び結果	2026年04月01日公告 2026年04月30日入札書受領期限 2026年05月14日開札

一者応札・応募等の改善取組内容

改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	業務遂行上必要な内容に限定した仕様としている。
②業務等準備期間の十分な確保	○	前回の25日間に対し、今回は47日間の準備・引継ぎ期間を確保した。
③公告期間の見直し	○	前回の15日間に対し、今回は20日間の公告期間を確保した。
④公告周知方法の改善	○	ホームページ及び掲示板への掲載に加え、履行可能性が見込まれる業者2者に入札情報を案内した。
⑤電子入札システムの導入	×	無
⑥業者等からの聴き取り	○	業者から、準備・引継ぎ期間が十分でなく、履行体制の構築が難しい旨の意見があった。

法人における事後点検の結果講ずることとした措置

事後点検の結果、前回より公告期間及び準備・引継ぎ期間を延長したものの、業務内容の具体的な把握や人員・車両の確保に必要な期間について、なお改善の余地があると認められた。次回調達では、仕様書に運行内容や必要な履行体制をより明確に記載するとともに、近隣の運行事業者等への入札情報の案内及び説明・現場確認の機会の設定を検討する。また、事業者が安定的な履行体制を構築しやすくなるよう、業務の継続性、費用対効果及び競争性への影響を確認した上で、複数年契約の適否を検討する。　広告期間の延長、業界紙や官報への掲載を行い、幅広く周知することも検討している。

契約監視委員会のコメント

仕様書の内容を見直すとともに、十分な準備・引継ぎ期間を確保した上で、適正な競争に付すること。あわせて、周知方法を工夫するとともに、近隣の運行事業者等への入札情報の案内や、説明・現場確認の機会の設定を検討し、複数業者の参加促進に努めること。

（法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置）

仕様書の内容を見直すとともに、十分な業務等準備期間を確保した上で、適正に競争に付することとする。
併せて、応札可能な業者等に対する周知方法を工夫するとともに、近隣の運行事業者等への入札情報の周知、入札説明会、現場確認の機会の設定を検討し、複数業者の参加促進に努めることとする。

本案件を審議した契約監視委員会の委員

近藤 浩明（監事）、小野 高史（監事）、加藤 一郎（外部有識者）、岡村 俊克（外部有識者）

（注）１．「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における１者応札・１者応募についての改善方策等について（依頼）」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。
（注）２．「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。
（注）３．本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

別紙３

一者応札・応募等事案フォローアップ票

法人名	国立研究開発法人国立がん研究センター
案件番号	3
入札及び契約方式	一般競争（最低価格落札方式）
契約の件名及び数量	クリッピング業務委託　一式
契約締結日	2026年6月30日
契約の相手方の商号又は名称等	日経メディアマーケティング株式会社
入札経緯及び結果	2026年06月03日公告 2026年06月22日入札書受領期限 2026年06月23日開札

一者応札・応募等の改善取組内容

改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	業務内容を詳細に記載した
②業務等準備期間の十分な確保	○	業務内容に特段の専門的な知識・経験を必要としないため、準備期間を設けていない。
③公告期間の見直し	○	契約事務取扱細則に基づく公告期間を確保した
④公告周知方法の改善	○	ホームページ掲載及び院内掲示を行った。また、公告開始にあわせて入札参加可能な事業者に対して入札参加の声がけを行った。
⑤電子入札システムの導入	×	無
⑥業者等からの聴き取り	×	入札説明受領者数が１者であったため、業者等から聴き取りすることは出来なかった。

法人における事後点検の結果講ずることとした措置

業務内容に特別な知識等は必要ないため、準備期間の確保はしていなかったが、次回の契約においては準備期間を設定することを検討するとともに、事前に参加可能と思われる業者に履行可否等を確認したうえで、受託できる業者に対して、入札公告を掲載したことを周知する。

契約監視委員会のコメント

業務等準備期間を確保するとともに、事前に参加が見込まれる業者に対し履行の可否等を確認し、応札可能な業者へ入札公告の掲載を周知するなど、複数業者の参加促進に努めること。

（法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置）

業務等準備期間を設けることを検討するとともに、応札可能な業者に入札公告について周知するなど、可能な限り競争を促せるように検討する。

本案件を審議した契約監視委員会の委員

近藤 浩明（監事）、小野 高史（監事）、加藤 一郎（外部有識者）、岡村 俊克（外部有識者）

（注）１．「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における１者応札・１者応募についての改善方策等について（依頼）」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。
（注）２．「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。
（注）３．本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

別紙３

一者応札・応募等事案フォローアップ票

法人名	国立研究開発法人国立がん研究センター
案件番号	4
入札及び契約方式	一般競争（総合評価落札方式）
契約の件名及び数量	令和８年度　税務関連業務委託　一式　一式
契約締結日	2026年7月6日
契約の相手方の商号又は名称等	EY税理士法人
入札経緯及び結果	2026年04月17日公告 2026年05月22日入札書受領期限 2026年05月29日開札

一者応札・応募等の改善取組内容

改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	以前は複数業者が応札しており、今回も応札要件等を変更していないため、仕様書の内容は変更していない。
②業務等準備期間の十分な確保	○	現行業者に確認したところ2週間程度で可能との回答であり、十分確保した。
③公告期間の見直し	○	契約事務取扱細則に基づく公告期間を確保した
④公告周知方法の改善	○	当センターホームページ掲載及び院内掲示を行った。
⑤電子入札システムの導入	×	無
⑥業者等からの聴き取り	○	仕様書を受け取った業者に聴き取りを行ったが、人員が足りないとの回答であった。

法人における事後点検の結果講ずることとした措置

次回の契約においては、業務等準備期間をさらに確保することに加えて、公告期間を確保することも検討したうえで競争に付するとともに、事前に参加可能と思われる業者に履行可否等を確認したうえで、受託できる業者に対して、入札公告を掲載したことを周知する。

契約監視委員会のコメント

さらに業務等準備期間を確保するとともに、必要に応じて公告期間の確保についても検討したうえで、適正な競争に付すること。あわせて、事前に参加が見込まれる業者に対し履行の可否等を確認し、応札可能な業者へ入札公告の掲載を周知するなど、複数業者の参加促進に努めること。

（法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置）

業務準備期間、公告期間について見直しを検討するとともに、応札可能な業者に入札公告について周知するなど、可能な限り競争を促せるように検討する。

本案件を審議した契約監視委員会の委員

近藤 浩明（監事）、小野 高史（監事）、加藤 一郎（外部有識者）、岡村 俊克（外部有識者）

（注）１．「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における１者応札・１者応募についての改善方策等について（依頼）」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。
（注）２．「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。
（注）３．本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

別紙３

一者応札・応募等事案フォローアップ票

法人名	国立研究開発法人国立がん研究センター
案件番号	5
入札及び契約方式	一般競争（最低価格落札方式）
契約の件名及び数量	脳波スペクトル分析装置BISモジュールレンタル　一式
契約締結日	2026年5月15日
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社イノメディックス
入札経緯及び結果	2026年04月03日公告 2026年04月23日入札書受領期限 2026年04月24日開札

一者応札・応募等の改善取組内容

改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	仕様書については、最低限必要な内容で作成されている。
②業務等準備期間の十分な確保	○	前回と同程度となる1か月の業務準備期間を確保した。
③公告期間の見直し	○	契約事務取扱細則に基づく公告期間を確保した
④公告周知方法の改善	○	当センターホームページ掲載及び院内掲示を行った。
⑤電子入札システムの導入	×	無
⑥業者等からの聴き取り	×	入札説明受領者数が１者であったため、業者等から聴き取りすることは出来なかった。

法人における事後点検の結果講ずることとした措置

次回の契約においては、業務等準備期間をさらに確保することに加えて、公告期間を確保することも検討したうえで競争に付するとともに、事前に参加可能と思われる業者に履行可否等を確認したうえで、受託できる業者に対して、入札公告を掲載したことを周知する。

契約監視委員会のコメント

さらに業務等準備期間を確保するとともに、必要に応じて公告期間の確保についても検討したうえで、適正な競争に付すること。あわせて、事前に参加が見込まれる業者に対し履行の可否等を確認し、応札可能な業者へ入札公告の掲載を周知するなど、複数業者の参加促進に努めること。

（法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置）

業務準備期間、公告期間について見直しを検討するとともに、応札可能な業者に入札公告について周知するなど、可能な限り競争を促せるように検討する。

本案件を審議した契約監視委員会の委員

近藤 浩明（監事）、小野 高史（監事）、加藤 一郎（外部有識者）、岡村 俊克（外部有識者）

（注）１．「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における１者応札・１者応募についての改善方策等について（依頼）」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。
（注）２．「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。
（注）３．本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

別紙３

一者応札・応募等事案フォローアップ票

法人名	国立研究開発法人国立がん研究センター
案件番号	6
入札及び契約方式	一般競争（総合評価落札方式）
契約の件名及び数量	患者病衣・タオル等賃貸借　1式
契約締結日	2026年5月27日
契約の相手方の商号又は名称等	ワタキューセイモア株式会社
入札経緯及び結果	2026年03月27日公告 2026年05月18日入札書受領期限 2026年05月22日プレゼンテーション 2026年05月26日開札

一者応札・応募等の改善取組内容

改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	業務遂行上必要な内容に限定した仕様としている。
②業務等準備期間の十分な確保	○	前回の32日間と同程度となる35日間の準備・引継ぎ期間を確保した。
③公告期間の見直し	○	前回は契約期間が1年間で政府調達協定の対象外であったため、契約事務取扱細則第8条に基づき14日間公告した。今回は契約期間が3年間で政府調達協定の対象となるため、52日間の公告期間を確保した。
④公告周知方法の改善	○	ホームページ及び掲示板への掲載並びに官報公告に加え、履行可能性が見込まれる業者2者に入札情報を案内した。
⑤電子入札システムの導入	×	無
⑥業者等からの聴き取り	○	業者から、参入を検討するためには、事前に業務の現状を把握し、内容を確認できる機会が必要である旨の意見があった。

法人における事後点検の結果講ずることとした措置

事後点検の結果、52日間の公告期間を確保し、仕様も業務遂行上必要な内容で構成していたが、業務の現状把握や履行体制の構築に必要な情報・機会が十分でなかったことが、事業者の参入判断に影響した可能性がある。次回調達では、準備・引継ぎ期間を可能な限り長く確保するとともに、同種業務の実績を有する事業者への入札情報の案内及び現場見学・事前説明の機会の設定を検討する。また、中央病院・東病院の一括契約については、事業者の人員確保、業務効率及び競争性への影響を確認した上で、その適否を検討する。　広告期間の延長、業界紙や官報への掲載を行い、幅広く周知することも検討している。

契約監視委員会のコメント

準備・引継ぎ期間を可能な限り確保するとともに、同種業務の実績を有する事業者への入札情報の案内、現場見学・事前説明の機会の設定を検討し、適正な競争に付すること。あわせて、両病院の一括契約の合理性を確認するとともに、広告期間の延長等の周知方法を工夫し、複数業者の参加促進に努めること。

（法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置）

業務等準備期間を可能な限り確保するとともに、同種業務の実績を有する事業者への入札情報の周知、入札説明会、現場見学の機会の設定を検討し、適正な競争に付することとする。
併せて、両病院の一括契約の合理性を確認するとともに、公告期間の延長等、周知方法を工夫して、複数業者の参加促進に努めることとする。

本案件を審議した契約監視委員会の委員

近藤 浩明（監事）、小野 高史（監事）、加藤 一郎（外部有識者）、岡村 俊克（外部有識者）

（注）１．「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における１者応札・１者応募についての改善方策等について（依頼）」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。
（注）２．「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。
（注）３．本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

別紙３

一者応札・応募等事案フォローアップ票

法人名	国立研究開発法人国立がん研究センター
案件番号	7
入札及び契約方式	一般競争（最低価格落札方式）
契約の件名及び数量	再公告　都市ガス供給（柏地区）　4,853.610㎥
契約締結日	2026年6月25日
契約の相手方の商号又は名称等	京葉瓦斯株式会社
入札経緯及び結果	2026年06月01日公告 2026年06月11日入札書受領期限 2026年06月15日開札

一者応札・応募等の改善取組内容

改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	標記を現行法に合わせ更新した。
②業務等準備期間の十分な確保	○	契約履行開始まで42日以上を確保した。
③公告期間の見直し	○	政府調達に関する協定等に係る物品等又は特定役務の調達手続の特例を定める規程に基づく公告期間以上を確保した。
④公告周知方法の改善	○	ホームページ掲載及び院内掲示を行い、精通業者へ入札公告を掲載していることを周知し、参加の検討を依頼した。
⑤電子入札システムの導入	×	無
⑥業者等からの聴き取り	×	公告を開始している旨、連絡し参加検討を依頼。「公共入札に参加していない。」「弊社ガス供給の対象地域外のため参加できない。」「無回答」等。

法人における事後点検の結果講ずることとした措置

仕様書について、「原料費基準日・単位料金算定式の自由提案化」を盛り込むことを検討する。これによりガス小売事業者が多様な料金プランを適用可能となり、リスクヘッジ手法を導入しやすくなる。センターとしては情勢等による原料費変動時に価格反映されやすくなるリスクは発生する。
業務等準備期間を前回の30日間から今回42日間とし、競争に付したが、再度公告となったため結果として契約後準備期間は5日間となったことから、次回の入札においては、再度公告になることを前提として更に業務等準備期間の確保することとした。
柏の葉における都市ガス供給を扱う許可のある事業者に対して、入札公告を掲載したことを周知するとともに、公共入札に参加していない業者に対して参加を促すこととした。

契約監視委員会のコメント

仕様書の内容を見直すとともに、再度公告を行う可能性を考慮し、業務準備期間を確保した上で、適正な競争に付すること。あわせて、公共入札に参加していないガス供給許可業者にも入札公告を周知するなど、複数業者の参加促進に努めること。

（法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置）

仕様書の内容を見直すとともに、再度公告を行う可能性を考慮し、業務準備期間を確保した上で、適正な競争に付することとする。
併せて、公共入札に参加していないガス供給許可業者にも入札公告を周知するなど、複数業者の参加促進に努めることとする。

本案件を審議した契約監視委員会の委員

近藤 浩明（監事）、小野 高史（監事）、加藤 一郎（外部有識者）、岡村 俊克（外部有識者）

（注）１．「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における１者応札・１者応募についての改善方策等について（依頼）」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。
（注）２．「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。
（注）３．本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

別紙３

一者応札・応募等事案フォローアップ票

法人名	国立研究開発法人国立がん研究センター
案件番号	8
入札及び契約方式	一般競争（最低価格落札方式）
契約の件名及び数量	ヘルプデスク業務委託　一式
契約締結日	2026年4月10日
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社KSKテクノサポート
入札経緯及び結果	2026年01月27日公告 2026年03月23日入札書受領期限 2026年03月24日開札

一者応札・応募等の改善取組内容

改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	業務範囲を見直した。
②業務等準備期間の十分な確保	○	引継ぎ期間として30日以上を確保した。
③公告期間の見直し	○	契約事務取扱細則に基づく公告期間を確保した
④公告周知方法の改善	○	官報、ホームページ掲載及び院内掲示を行い、精通業者へ入札公告を掲載していることをお知らせし参加を検討してもらった。
⑤電子入札システムの導入	×	無
⑥業者等からの聴き取り	×	入札説明受領者数が１者であったため、業者等から聴き取りすることは出来なかった。

法人における事後点検の結果講ずることとした措置

前回から業務等準備期間を十分に確保し、競争に付した。また、業務範囲の見直した（一部派遣に委託していたものをまとめた）が一者応札であった。入札要件について、再度見直しを検討するとともに、その他類似案件を扱う事業者に対して、入札公告を掲載したことを周知する。

契約監視委員会のコメント

入札要件について、再度の見直しを検討するとともに、事前に類似案件を取扱う業者へ入札公告の掲載を周知するなど、複数業者の参加促進に努めること。

（法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置）

入札要件について再度見直しを検討するとともに、応札可能な業者に入札公告について周知するなど、可能な限り競争を促せるように検討する。

本案件を審議した契約監視委員会の委員

近藤 浩明（監事）、小野 高史（監事）、加藤 一郎（外部有識者）、岡村 俊克（外部有識者）

（注）１．「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における１者応札・１者応募についての改善方策等について（依頼）」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。
（注）２．「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。
（注）３．本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

別紙３

一者応札・応募等事案フォローアップ票

法人名	国立研究開発法人国立がん研究センター
案件番号	9
入札及び契約方式	一般競争（最低価格落札方式）
契約の件名及び数量	（再公告）手術室・中央材料室・内視鏡室等における消毒清掃等業務委託 1式
契約締結日	2026年6月19日
契約の相手方の商号又は名称等	日本ステリ株式会社
入札経緯及び結果	2026年06月04日公告 2026年06月17日入札書受領期限 2026年06月19日開札

一者応札・応募等の改善取組内容

改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	業務遂行上必要な内容に限定した仕様としている。
②業務等準備期間の十分な確保	○	前回は92日間の準備・引継ぎ期間を確保していたが、今回は再公告となり、契約開始までの期間に制約があったため、準備・引継ぎ期間は11日間となった。なお、従前は中央病院・東病院分を一括して調達していたが、2026年3月に東病院において一括契約を行う方針が決定されたこともあり、十分な期間を確保することが困難であった。
③公告期間の見直し	○	前回は20日間公告したが、今回は再公告で契約開始までの期間に制約があったため、公告期間は14日間となり、前回以上の期間は確保できなかった。
④公告周知方法の改善	○	ホームページ及び掲示板への掲載に加え、履行可能性が見込まれる業者2者に入札情報を案内した。
⑤電子入札システムの導入	×	無
⑥業者等からの聴き取り	○	業者から、参入を検討するためには、事前に業務の現状を把握し、内容を確認できる機会が必要である旨の意見があった。

法人における事後点検の結果講ずることとした措置

事後点検の結果、仕様は業務遂行上必要な内容で構成されている一方、前回は92日間確保していた準備・引継ぎ期間が、今回は再公告に伴い11日間にとどまったことに加え、公告期間も14日間となったことや、業務内容を事前に把握する機会が十分でなかったことが、事業者の参入判断に影響した可能性がある。次回調達では、調達方針を早期に決定し、十分な公告期間及び準備・引継ぎ期間を確保する。併せて、ホームページ等による公告に加え、同種業務の実績を有する事業者への入札情報の案内及び現場見学の機会の設定を検討し、競争参加機会の拡大に努める。　広告期間の延長、業界紙や官報への掲載を行い、幅広く周知することも検討している。

契約監視委員会のコメント

調達方針を早期に決定するとともに、十分な公告期間及び準備・引継ぎ期間を確保した上で、適正な競争に付すること。あわせて、周知方法を工夫するとともに、同種業務の実績を有する事業者への入札情報の案内や、現場見学・事前説明の機会の設定を検討し、複数業者の参加促進に努めること。

（法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置）

調達方針を早期に決定するとともに、十分な公告期間及び業務等準備期間を確保した上で、適正な競争に付することとする。
併せて、応札可能な業者等に対する周知方法を工夫するとともに、同種業務の実績を有する事業者への入札情報の周知、入札説明会、現場見学の機会の設定を検討し、複数業者の参加促進に努めることとする。

本案件を審議した契約監視委員会の委員

近藤 浩明（監事）、小野 高史（監事）、加藤 一郎（外部有識者）、岡村 俊克（外部有識者）

（注）１．「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における１者応札・１者応募についての改善方策等について（依頼）」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。
（注）２．「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。
（注）３．本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。